

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 7 日作成)

小委員会名	クールルーフ評価・推進小委員会		主 査 名：近藤靖史 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (都市環境・都市設備運営委員会)		委員長名：久野 覚 主 査 名：高木 直樹
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2011 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・都市ヒートアイランド対策としての熱的効果が期待できる屋上緑化、高反射率塗料、保水性建材などの建物屋根（必要に応じて外壁や舗装面などを含む）のクールルーフ性能等の評価をとりまとめ、対策技術の適切な選択を促すことを目的とする。		
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：有		
	近藤靖史（東京都市大学）、赤川宏幸（大林組）、伊藤大輔（ものづくり大学）、梅田和彦（大成建設）、酒井孝司（明治大学）、竹林英樹（神戸大学）、西岡真稔（大阪市立大学）、橋田祥子（明星大学）、藤本哲夫（建材試験センター）、松尾陽、三坂育正（竹中工務店）、村田泰孝（崇城大学）、森山正和（撰南大学）、吉田篤正（大阪府立大学）		
設置 WG (WG 名：目的)	クールルーフ適正利用 WG:クールルーフ適正利用ガイドの作成に向け、整理表、評価ツール、良い事例集の作成、評価方法・測定方法の整理に関する検討を実施する。		
2010 年度予算	177,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s22/	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回（年度内計画を含む）（ただし WG を 3 回開催）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 各委員の調査結果、測定結果などに関する情報交換が実施された。 2. WG の活動を通して、クールルーフ適正利用ガイド作成が進展した。 3. 小委員会、WG における検討結果を小委員会の HP で公開した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 予定していたシンポジウムの企画はクールルーフ推進小委員会に課題として引き継ぐこととした。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。